

No.	5	山根 祐二
質問事項	2	交通安全対策について
<p>東京都豊島区で昨年4月に発生した高齢ドライバーによる車両暴走事故では、何一つとして落ち度のない母子が死亡し、男女8人が重軽傷を負いました。事故後、都内では運転免許証を自主返納する高齢者が急増し、高齢者の免許制度を見直す法改正の道筋も示され、高齢ドライバー対策は大きな転換点を迎えようとしています。</p> <p>こうした中、免許を自主返納する人も増えていますが、仕事や買い物などで手放せない高齢者も少なくないのも実情です。そのため、安全運転機能を搭載した「交通安全サポート車」（サポカー）の購入補助などに139億円を盛り込んだ2019年度補正予算が成立しました。この助成制度は65歳以上の高齢運転者が対象となります。対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダルの踏み間違い急発進等抑制装置を装備した新車、中古車の購入に補助金を支給します。例えば、現在乗っている車に急加速抑制装置を後付けする場合、障害物検知機能付きで4万円、同機能なしで2万円補助となります。自動ブレーキと急加速抑制装置を搭載した自動車を新車で購入する際は普通車で10万円、軽自動車で7万円、中古車で4万円を支給します。サポカー補助金の申請受付は3月上旬からの見通しで、新車に限り、時期をさかのぼって、対象となります。</p> <p>高齢者の事故を減らすのは免許返納だけではありません。行政として国の補助制度を広く市民に知っていただき、多くの方に利用していただくよう取り組むべきと考えますが、ご所見をうかがいます。</p> <p>また、サポカー体験型高齢者交通安全教室、後付けペダル踏み間違い防止装置及び安全運転サポート車の体験試乗会等、各地で警察署や自動車会社、あるいは行政が開催しています。防府市でもこの機会にサポカー体験教室を開催してはいかがでしょうか、お伺いいたします。</p>		